

報道ご関係者各位  
2011年3月30日

### マニライフ・ファイナンシャルによる 東北地方太平洋沖地震への義援金拠出について

マニライフ生命保険株式会社(社長兼 CEO: クレイグ・ブロムリー、本社: 東京都調布市)の親会社であるマニライフ・ファイナンシャルは、少なくとも100万ドル(約8300万円程度)を東北地方太平洋沖地震への義援金として拠出することを発表しました。

この義援金は、世界各地のマニライフ・グループ会社(日本で事業を展開しているマニライフ関連会社を含む)の従業員からの寄付金と、マニライフ・ファイナンシャルからの拠出額を合計したものとなります。マニライフ・ファイナンシャルは赤字社を通じ、マニライフ・国際災害救援基金(Manulife International Disaster Relief Fund)より義援金の寄贈を既に始めております。

マニライフ生命 社長兼 CEO クレイグ・ブロムリーは次のように述べています。

「被災され困難な状況にある皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。マニライフでは、世界各地の従業員とともに、被災地の復興に向けて出来る限りの支援を行いたいと思っています。被災地のお客様に引き続きより良いサービスをご提供させていただくと共に、復興に向け歩み出そうとする中、今回の義援金が皆様のお役に立つことを願っております。一日も早い復興を祈念いたします。」

#### マニライフについて

マニライフ生命保険株式会社(「マニライフ生命」)は、マニライフ・ファイナンシャルのグループ企業です。

マニライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界22カ国・地域で事業を展開している金融サービスのリーディング・グループです。マニライフは120年以上にわたり、信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、世界各地のお客様にお届けすることを目指してまいりました。同社職員、エージェンต์および販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客様に経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客様には、資産運用サービスのみならず、生命保険および損害・傷害保険の再々保険に特化した再保険の解決策もご提供しています。マニライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2010年12月31日現在4,750億カナダドル(4,780億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニライフ・ファイナンシャルとして、米国においては主にジョン・ハンコックとして事業を展開しています。

マニライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ([www.manulife.com](http://www.manulife.com))をご覧ください。マニライフ生命のホームページは次の通りです。(www.manulife.co.jp)